非常持ち出し品を準備する

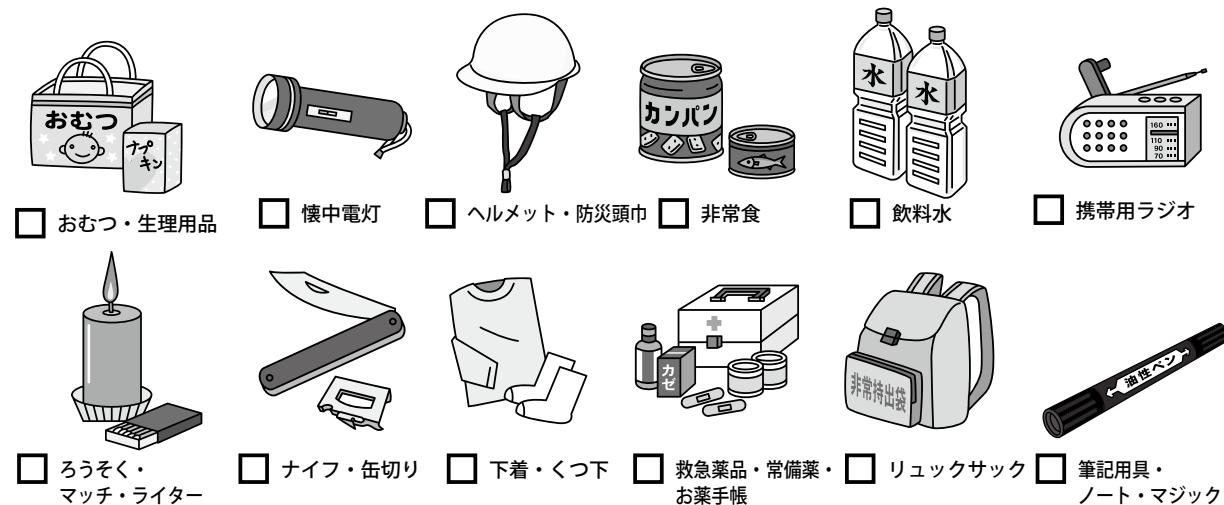
水や食料などの救援物資が届くのは、一般的に3日後、大災害の場合は1週間後と言われています。ライフラインが止まった場合を想定して、非常持ち出し品を準備しましょう。（乳幼児や高齢者がいる家庭は、ニーズに応じた備蓄をしましょう）

食料品チェックリスト

- □ 水は１人１日３リットル×家族の人数×３日分
- □ 食料は火や水を使わない非常食３日分を含む７日分

備蓄品などのチェックリスト

- □ おむつ・生理用品
- □ 懐中電灯
- □ ヘルメット・防災頭巾
- □ 非常食
- □ 飲料水
- □ 携帯用ラジオ

- □ ろうそく・マッチ・ライター
- □ ナイフ・缶切り
- □ 下着・くつ下
- □ 救急薬品・常備薬・お薬手帳
- □ リュックサック
- □ 筆記用具・ノート・マジック

- □ 予備の乾電池
- □ ティッシュペーパー・トイレットペーパー
- □ スプーン・はし・カップ
- □ 現金（硬貨）
- □ タオル
- □ 手袋・軍手
- □ 雨具
- □ 毛布・寝袋
- □ ビニール袋
- □ 衣類（季節に応じた物）
- □ 卓上コンロ（ボンベ）
- □ ロープ
- □ 簡易トイレ
- □ ビニールシート
- □ ガムテープ
- □ ウェットティッシュ
- □ マスク
- □ ラップ類
- □ 携帯用カイロ

※備蓄品などのチェックリストは参考です。家族構成や環境によって異なる場合があります。

建物の下敷きにならないために

昭和56年5月以前に建築された木造住宅の耐震工事を実施する場合に、その経費に対して1戸当たり40万円（高齢者のみの世帯などの場合は60万円）の補助金を交付しています。この制度をぜひご活用ください。

詳細は、都市計画課へお問い合わせください。

問合先／都市計画課（979-8117）

やってみよう

ライフラインが止まった場合を想定して、「電気・ガス・水道」を使わない生活をしてみてはいかがですか？

いざという時に必要な物がわかり、非常持ち出し品の準備に役立ちます。

安否確認の方法を確認する

東日本大震災の直後は、通話が集中し、携帯電話を含め、電話がつながりにくい状況になりました。

そのような状況で、家族の安否確認や避難先をどのようにするか、事前に家族で話し合いをしましょう。

災害用伝言ダイヤル（171）

災害発生後、家族や親せきなどの安否を確認したいとき、NTTの「災害用伝言ダイヤル」があります。

被災者が録音した安否情報などを確認することができます。

■使い方

録音時間	1伝言あたり30秒
保存期間	48時間
登録可能件数	最大10件
登録可能番号	携帯電話・PHSからも利用可能（1部の事業所を除く）

携帯電話の災害用伝言板

被災や避難の状況を登録・確認することができます。災害用伝言板に登録したことをメールで伝えることや登録された伝言を携帯電話の番号で検索することもできます。

■使い方　携帯電話などの取扱説明書を確認してください。

登録内容	「無事です」「被害があります」「自宅にいます」「避難所にいます」の4つから選択し、100文字までのコメントが入力可能
保存期間	72時間
登録可能件数	10件（10件を超えた場合、古い物から削除）
登録可能番号	携帯電話・PHS

避難場所を確認する

町内に10か所の広域避難所を指定しています。災害が発生した場合、まずは各地区で安全な広場や公民館などの一次避難地に集まり、隣近所で安否確認をしてください。

自主防災会長などの指示で広域避難所に移動しましょう。

広域避難所

場　所	所在地	電話番号
函南中学校	函南町仁田 56	978-3109
東中学校・同第２グラウンド	函南町柏谷 540	979-1566
函南小学校・同第２グラウンド	函南町仁田 148	978-3048
東小学校・同第２グラウンド	函南町平井 972	978-8848
西小学校	函南町間宮 475	978-7102
桑村小学校	函南町桑原 933	978-2006
丹那小学校	函南町丹那 443	974-0024
函南町西部コミュニティセンター	函南町肥田 667-1	978-3976
函南町農村環境改善センター	函南町丹那 333-1	974-3050
田方農業高等学校	函南町塚本 961	978-2265